

決算補足説明資料

2024年度 第1四半期 業績概要

注意事項

- 2024年度より、これまでシステムエンジニアリング事業に含めていた太陽光発電用パワーコンディショナ関連の情報を、モーションコントロール事業に移行するセグメント区分の見直しを行います。これにより、2024年度の数値は変更後の情報に組み替えた上で算出しています。なお、2023年度の数値についても変更後の情報にて表示しています。（P17参照）
- 本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。
- 本資料に記載の数値は四捨五入にて表示しており、決算短信など他資料と異なる場合があります。
- 本資料の著作権は当社に帰属し、当社の事前の承諾なく複製または転用することを禁じます。

株式会社 安川電機 (TSE6506)

(対象期間：2024年3月1日～2024年5月31日)

1. 2024年度 第1四半期 連結業績

- 2024年度 第1四半期 実績
- 主要事業の概要
- 事業セグメント別売上収益構成比
- 所在地別売上収益, 構成比
- 営業利益増減要因分析
- 2024年度1Qにおける取り組み

2. 2024年度 通期 連結業績見通し

- 2024年度 通期 見通し

3. 参考資料

- セグメント区分変更による組替表示
- 設備投資・研究開発費, 為替レート・感応度
- B/S 構造の推移
- 売上収益・営業利益推移
- 四半期売上収益推移
- 四半期受注推移

セグメント別事業概要

モーションコントロール

【主要製品】

- ・ ACサーボモータ、コントローラ
- ・ リニアサーボ
- ・ インバータ
- ・ 太陽光発電用パワーコンディショナ
- ・ PMモータ



など



ロボット

【主要製品】

- ・ 産業用ロボット
 - アーク・スポット溶接・塗装用途向け
 - FPD搬送・ハンドリング用途向け
- ・ 半導体製造装置用ロボット
- ・ バイオメディカル用途向けロボット
- ・ 人協働ロボット



など



システム エンジニアリング

【主要製品】

- ・ 鉄鋼プラント用電機システム
- ・ 上下水道用電気計装システム



その他

- ・ 物流サービス

など

1. 2024年度 第1四半期 連結業績

2024年度 第1四半期 実績

- ・ 高水準な受注残に支えられた前年同期に比べ減収
- ・ 売上減少に伴う利益減の影響を大きく受け減益

	2024年度	2023年度	前 年 同 期 比	
	1Q 実績	1Q 実績	増減額	増減率
売 上 収 益	1,324億円	1,425億円	▲101億円	▲7.1%
営 業 利 益	111億円	164億円	▲53億円	▲32.4%
税 引 前 利 益	123億円	170億円	▲46億円	▲27.4%
親会社の所有者に帰属する 四 半 期 利 益	92億円	117億円	▲25億円	▲21.1%

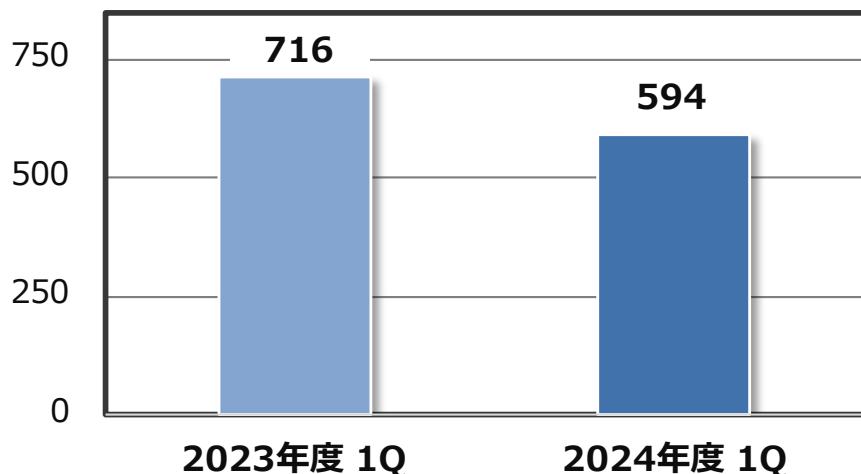
2024年度 第1四半期 実績（セグメント別）

- ・ モーションコントロールはACサーボを中心に売上減の影響を大きく受け減益
- ・ ロボットは生産の高度化・自動化に対する底堅い需要や自動車関連の投資継続などにより増収も、先行投資や生産稼働率の低下などにより減益

	2024年度 1Q		2023年度 1Q		前 年 同 期 比	
	実績	利益率	実績	利益率	増減額	増減率
(単位：億円)						
売 上 収 益	1,324		1,425		▲101	▲7.1%
モーションコントロール	594		716		▲123	▲17.1%
ロボット	570		528		+43	+8.1%
システムエンジニアリング	105		123		▲18	▲14.7%
その他	55		58		▲3	▲5.7%
営 業 利 益	111	8.4%	164	11.5%	▲53	▲32.4%
モーションコントロール	56	9.5%	98	13.7%	▲42	▲42.6%
ロボット	48	8.4%	62	11.7%	▲14	▲22.6%
システムエンジニアリング	11	10.1%	10	8.3%	+0	+3.0%
その他	2	4.5%	▲0	▲0.3%	+3	-
消去または全社	▲6	-	▲6	-	▲0	-

主要事業の概要 モーションコントロール

売上収益(億円)



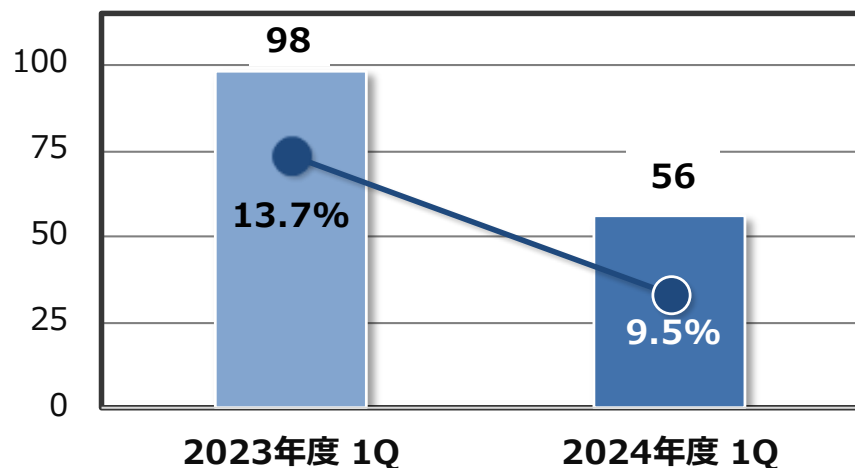
【売上収益】

- ・ ACサーボは前年同期に見られた太陽光発電用パネル関連の需要剥落や、半導体・電子部品市場の在庫調整の長期化などの影響を受け減収
- ・ インバータは米国のオイル・ガス関連、アセアン各国やインドにおけるインフラ関連の需要が堅調に推移も、その他の地域で在庫調整等の影響を受け減収

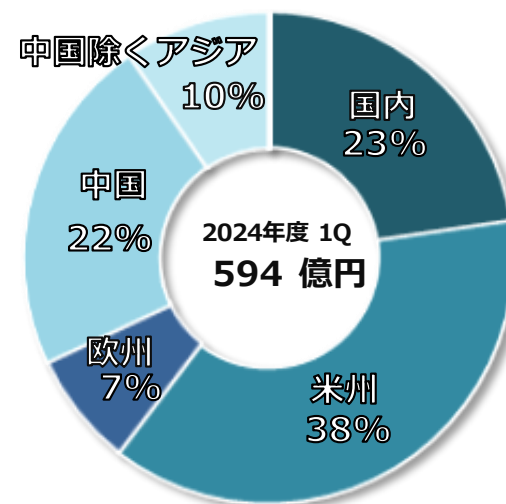
【営業利益】

- ・ 付加価値の改善は進んだものの、売上減少に伴う利益減の影響を大きく受け減益

営業利益(億円)・営業利益率(%)

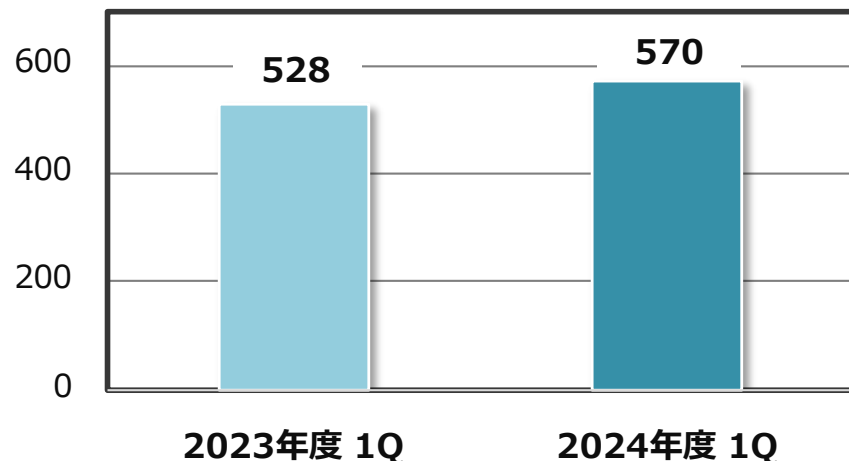


所在地別売上収益構成比



主要事業の概要 ロボット

売上収益(億円)



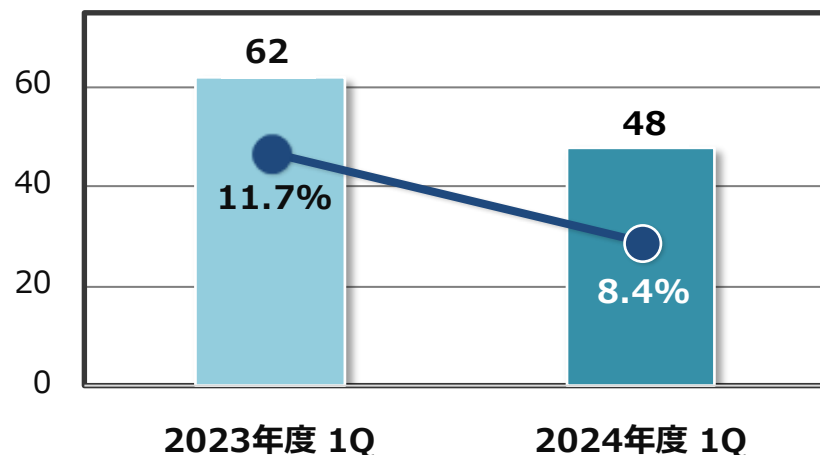
【売上収益】

- 一般産業分野では、日本と欧米を中心に生産の高度化・自動化の投資が底堅く推移
- 自動車市場においてもグローバルに投資が継続し増収

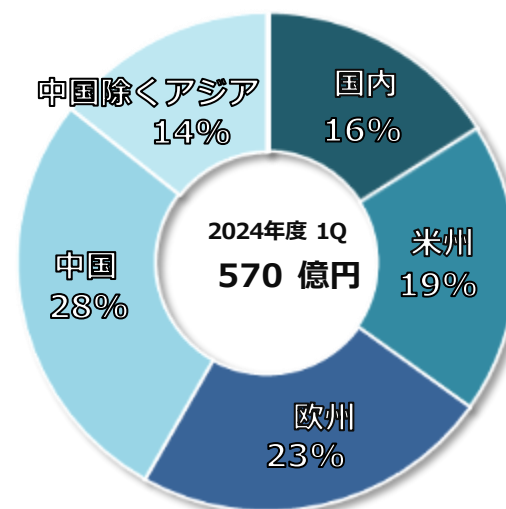
【営業利益】

- システム対応力強化に向けた先行投資や、生産稼働率の低下などにより減益

営業利益(億円)・営業利益率(%)

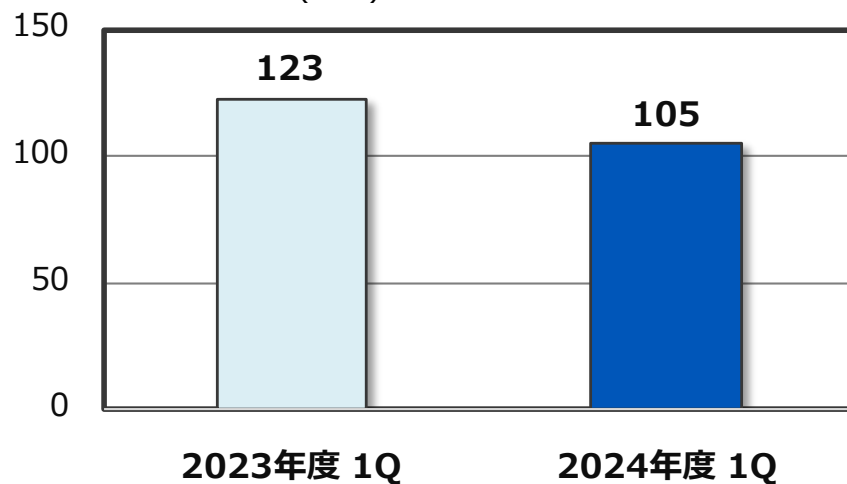


所在地別売上収益構成比



主要事業の概要 システムエンジニアリング

売上収益(億円)



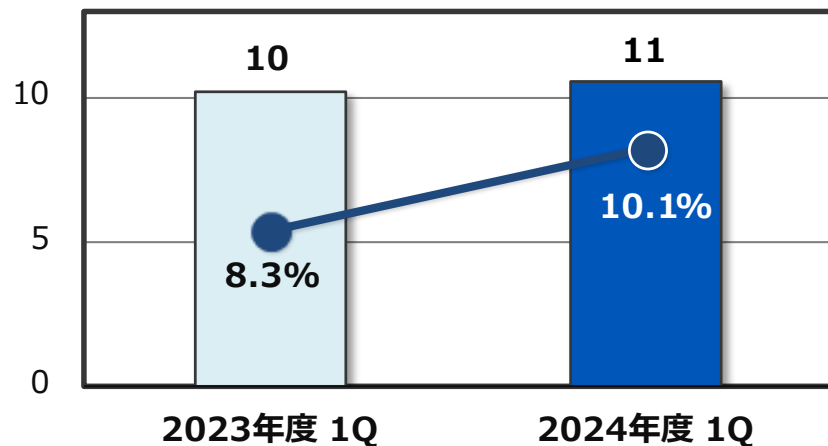
【売上収益】

- ・ 港湾クレーン関連の販売が堅調に推移も、前年度下期の大型風力発電関連の子会社売却影響により減収

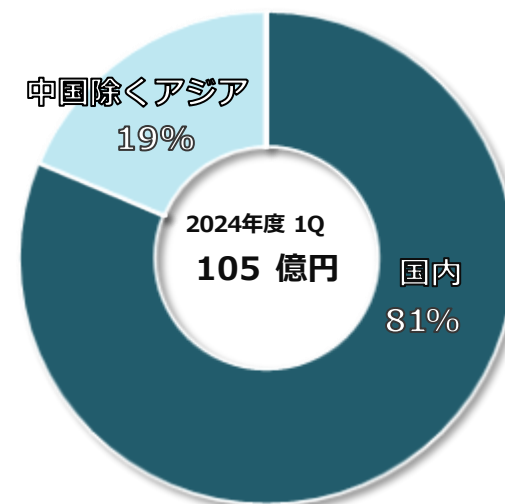
【営業利益】

- ・ 事業構造改革の効果などにより増益

営業利益(億円)・営業利益率(%)

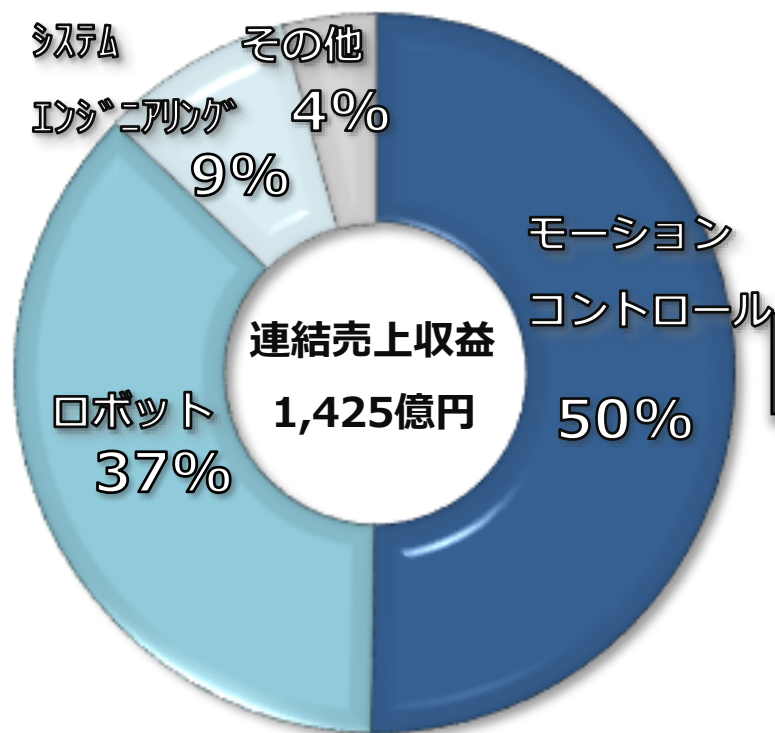


所在地別売上収益構成比

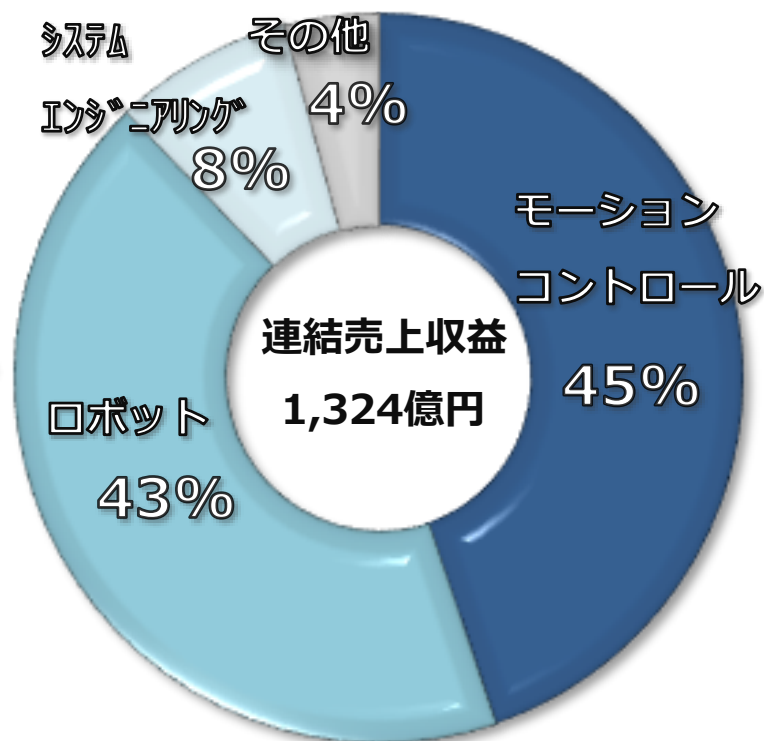


事業セグメント別売上収益構成比

2023年度 1Q



2024年度 1Q



所在地別売上収益

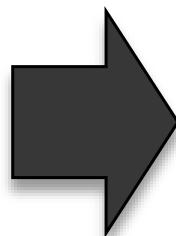
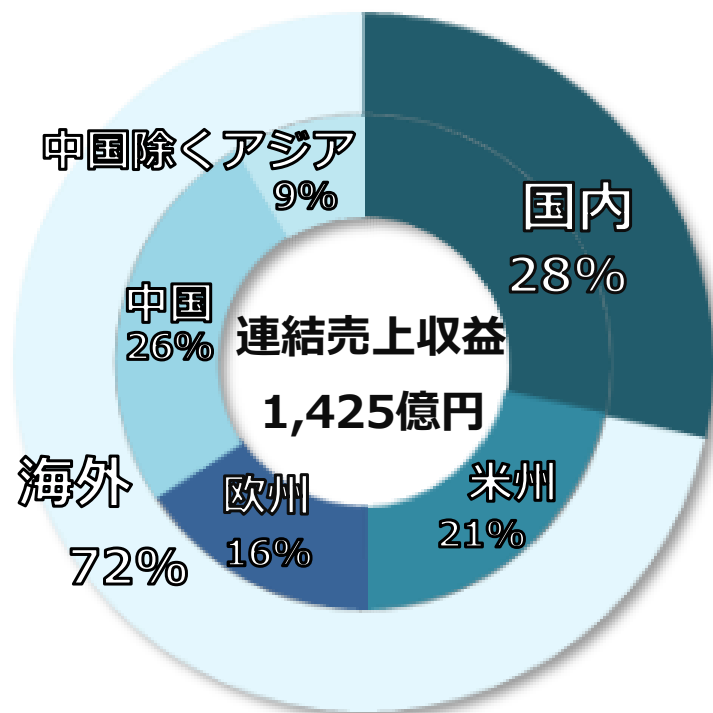
・米州・中国除くアジア以外の地域は減収

(単位：億円)	2024年度	2023年度	前年同期比	
	1Q実績	1Q実績	増減額	増減率
売上収益	1,324	1,425	▲101	▲7.1%
国内	358	405	▲48	▲11.7%
海外	966	1,020	▲53	▲5.2%
米州	333	305	+28	+9.3%
欧州	178	228	▲51	▲22.2%
中国	297	364	▲67	▲18.5%
中国除くアジア	158	122	+36	+29.4%

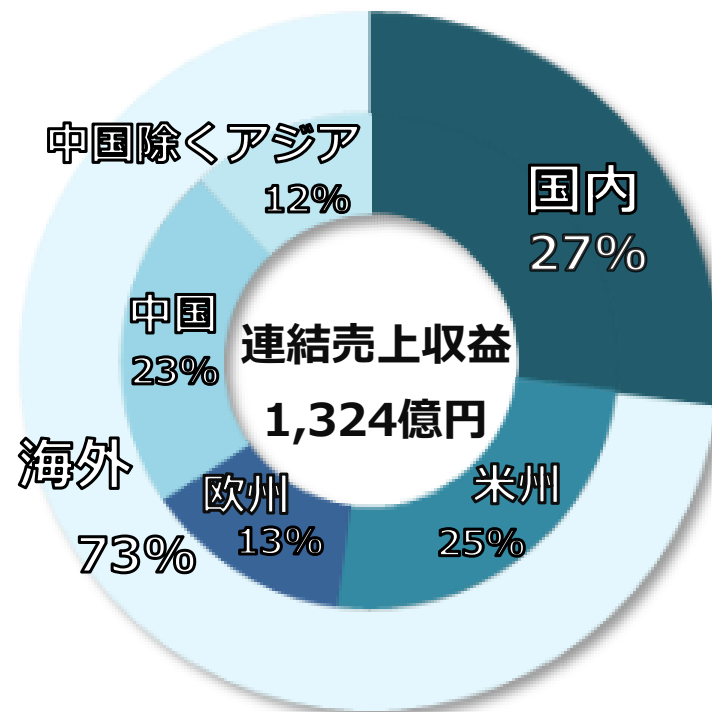
[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

所在地別売上収益構成比

2023年度 1Q



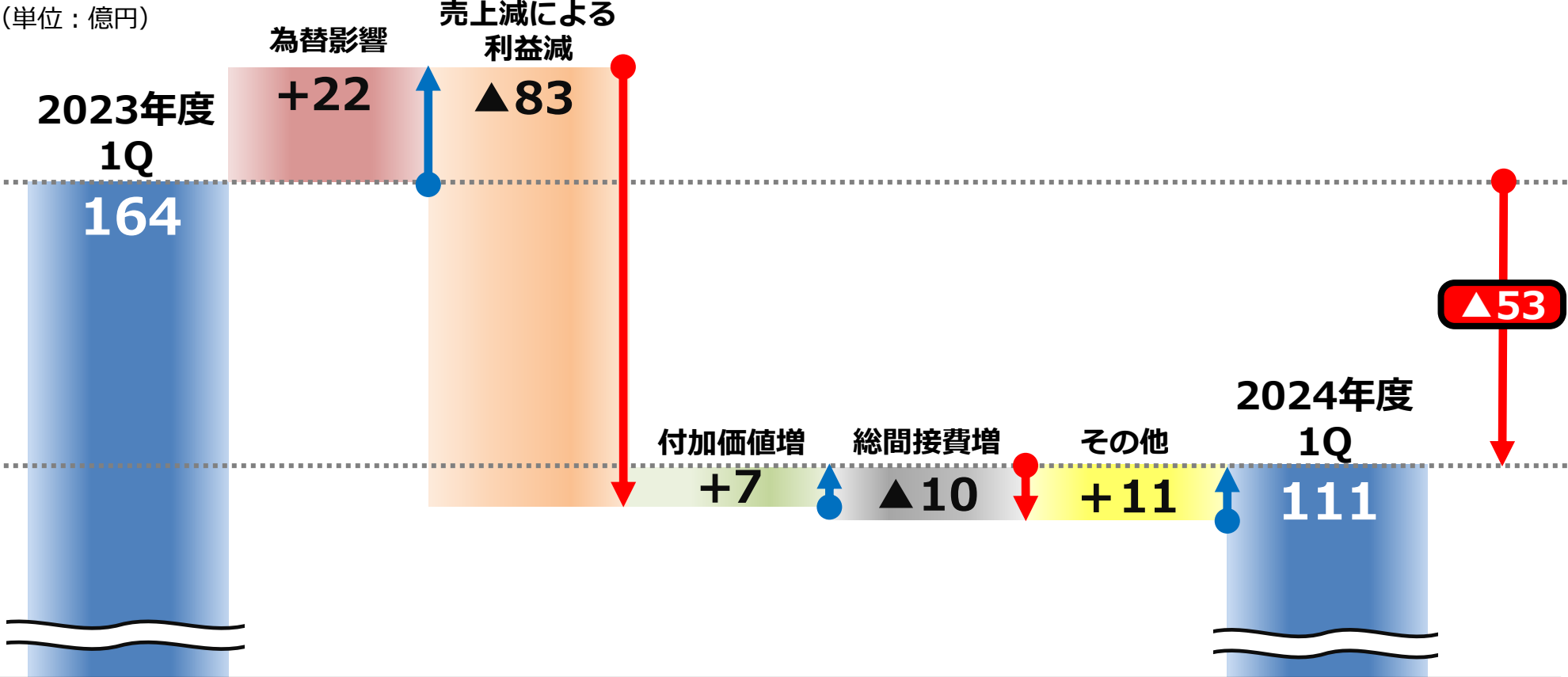
2024年度 1Q



[注] 欧州には、中近東およびアフリカを含む

営業利益増減要因分析（2023年度1Q → 2024年度1Q）

（単位：億円）



内訳	為替影響	売上増減による利益増減	付加価値増減	総間接費増減	その他
モーションコントロール	+ 10	▲ 85	+ 24	+ 9	+ 0
ロボット	+ 12	▲ 3	▲ 15	▲ 9	+ 1
システムエンジニアリング	+ 0	+ 7	▲ 5	▲ 1	+ 0
その他	+ 0	▲ 1	+ 3	▲ 9	+ 9

2024年度1Qにおける取り組み

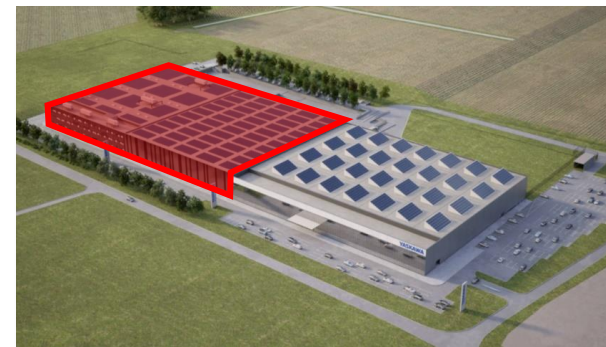
“i³-Mechatronics”ソリューションによる価値創出

➔ 生産力の強化

- 欧州地域でのロボット生産体制の強化を決定（スロベニア）
 - ・ ロボットシステム工場の移転拡張
 - ・ ERDC(EMEA ロボティクス ディストリビューションセンタ)の新設

➔ 販売力の強化

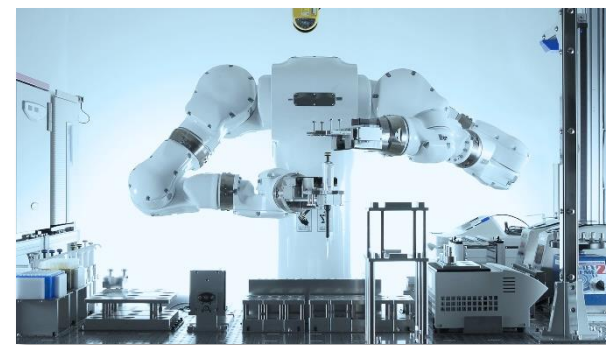
- 自動車産業で重要度が増すアルミ材溶接に関する新工法やアーク溶接の視える化を実現する“Arc Visualizer”を2024国際ウエルディングショーで提案
- 欧州でiCube Control※の製品群によるコントローラビジネスの構築



YASKAWA Europe Robotics 拡張後イメージ
(赤枠部：ロボットシステム工場・ERDC)

メカトロニクス応用領域の事業拡大による サステナブルな社会実現への貢献

- アステラス製薬とバイオ向け双腕ロボット「まほろ」を活用した革新的な細胞医療プラットフォームの構築に向けた覚書を締結
- 中部ロボットセンタ(愛知県みよし市)をCO₂排出ゼロ電力に切替え、当社拠点初のCO₂排出ゼロ(カーボンニュートラル)を達成



バイオ向け双腕ロボット「まほろ」

※:2024年1月から展開を開始したi³-Mechatronicsを実現する当社独自のコントローラソリューション

2. 2024年度 通期 連結業績見通し

2024年度 通期 見通し

・半導体・電子部品市場の投資再開が想定される等、製造業における自動化・省力化に関する設備投資が回復する見込みであることから、通期見通し(2024年4月5日公表)を据え置く

	2024年度 見通し	2023年度 実績	前 年 同 期 比	
			増減額	増減率
売 上 収 益	5,800億円	5,757億円	+43億円	+0.8%
営 業 利 益	700億円	662億円	+38億円	+5.7%
税 引 前 利 益	740億円	691億円	+49億円	+7.1%
親会社の所有者に帰属する 当 期 利 益	540億円	507億円	+33億円	+6.5%

3. 参考資料

セグメント区分変更による組替表示（2023年度実績）

- 2024年度より従来システムエンジニアリング事業に含めていた太陽光発電用パワーコンディショナ関連の情報を、モーションコントロール事業に移行する**セグメント区分の見直し**を実施
- 2024年度・2023年度の数値は、セグメント変更後の情報にて表示

2023年度（セグメント変更後）								変更 影響額 (通期)
(単位：億円)	1Q	2Q	上期	3Q	4Q	下期	通期	
売上高	1,425	1,465	2,890	1,354	1,513	2,867	5,757	-
モーションコントロール	716	691	1,408	638	649	1,287	2,694	+94
ロボット	528	596	1,124	546	677	1,223	2,347	-
システムエンジニアリング	123	108	231	107	123	230	461	▲94
その他	58	70	128	63	63	127	255	-
営業利益	164	166	331	135	197	332	662	-
モーションコントロール	98	104	202	84	104	188	390	+8
ロボット	62	68	130	56	66	122	251	-
システムエンジニアリング	10	4	14	2	33	35	49	▲8
その他	▲0	0	0	1	3	4	4	-
消去または全社	▲6	▲10	▲15	▲7	▲9	▲16	▲32	-

設備投資・研究開発費, 為替レート・感応度

設備投資・研究開発費の状況

(単位：億円)

	2022年度 (実績)	2023年度 (実績)	2024年度 (計画)
設備投資額	276.1	378.6	420.0
減価償却費	196.7	208.0	220.0
研究開発投資	187.8	212.5	220.0

為替レート

※ 為替レートは、期中平均レートを記載

(単位：円)

	2022年度 (実績)			2023年度 (実績)			2024年度 (想定)		
	1Q	上期	通期	1Q	上期	通期	1Q(実績)	上期	通期
対 米ドル	124.2	129.9	134.1	134.9	138.8	143.2	153.2	149.1	147.1
対 ユーロ	134.3	136.8	139.8	146.1	151.0	155.1	165.5	160.2	157.6
対 元	19.12	19.59	19.68	19.46	19.61	20.02	21.16	20.58	20.29
対 ウォン	0.100	0.102	0.103	0.102	0.106	0.109	0.113	0.112	0.111

為替感応度

(単位：億円)

	1%変動による影響額目安 (2024年度_通期)	
	売上収益	営業利益
米ドル	13.7	1.8
ユーロ	8.1	1.8
元	12.8	3.4
ウォン	4.1	1.9

B/S 構造の推移

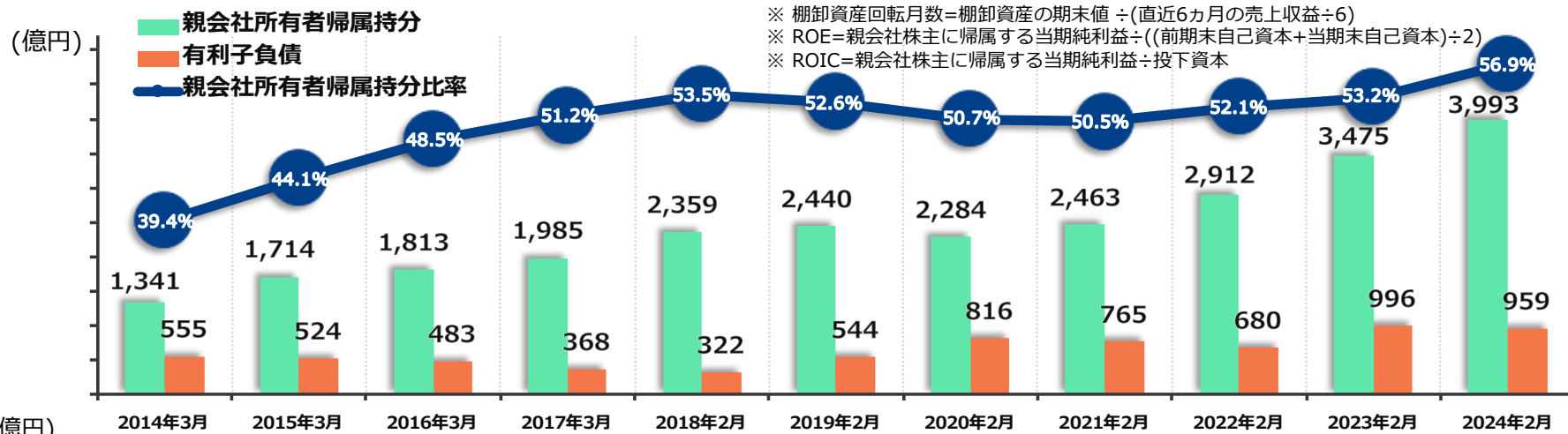
2024年2月29日時点

- 親会社所有者帰属持分比率 56.9%
- 親会社所有者帰属持分 3,993億円
- 有利子負債 959億円
- D/Eレシオ 0.24
(ネットD/Eレシオ) 0.14
- 棚卸資産 (回転月数) 2,079億円 (4.4ヶ月)
- ROE 13.6%
- ROIC 11.8%

2024年5月31日時点

- 親会社所有者帰属持分比率 56.5%
- 親会社所有者帰属持分 4,105億円
- 有利子負債 1,088億円
- D/Eレシオ 0.26
(ネットD/Eレシオ) 0.14
- 棚卸資産 (回転月数) 2,167億円 (4.6ヶ月)

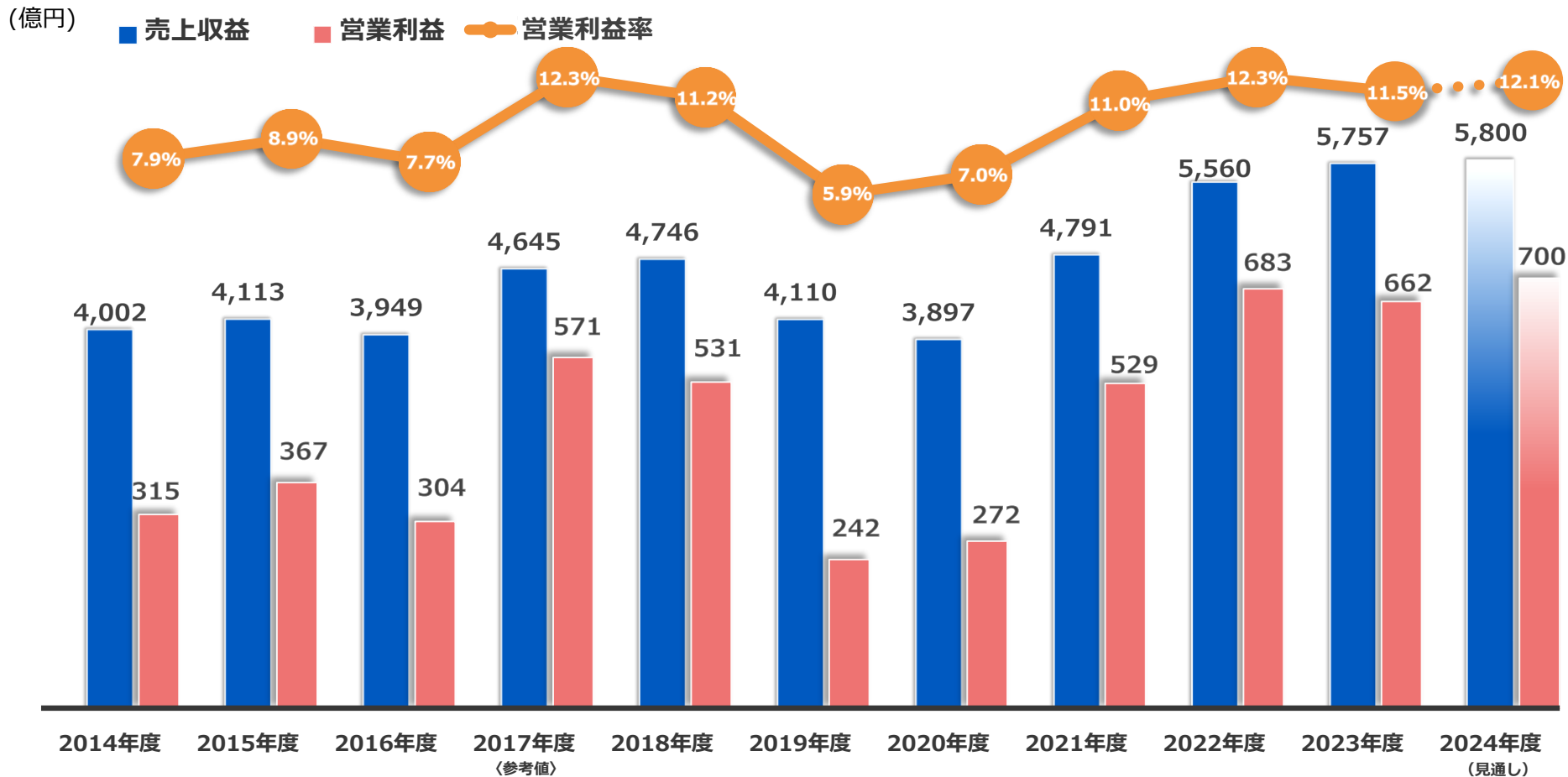
※ 有利子負債はリース債務を含む
 ※ 棚卸資産回転月数=棚卸資産の期末値÷(直近6カ月の売上収益÷6)
 ※ ROE=親会社株主に帰属する当期純利益÷((前期末自己資本+当期末自己資本)÷2)
 ※ ROIC=親会社株主に帰属する当期純利益÷投下資本



営業CF	240	290	320	338	461	343	215	396	492	▲22	546
投資CF	▲169	▲279	▲224	▲189	▲189	▲271	▲206	▲96	▲242	▲197	▲293
フリーCF	▲70	11	95	148	272	72	8	300	251	▲219	253

[注] 2018年2月までのデータは日本基準にて記載

売上収益・営業利益推移（2014年度～2024年度見通し）



Realize 100

Dash 25

Challenge 25 Plus

Realize 25

中期経営計画

[注1] 2017年度までのデータは日本基準にて記載

[注2] 2017年度通期実績は、対象期間を2017年3月21日～2018年3月20日に置き換えた〈参考値〉にて記載

四半期売上収益推移

セグメント別

(億円)

1,800

1,600

1,400

1,200

1,000

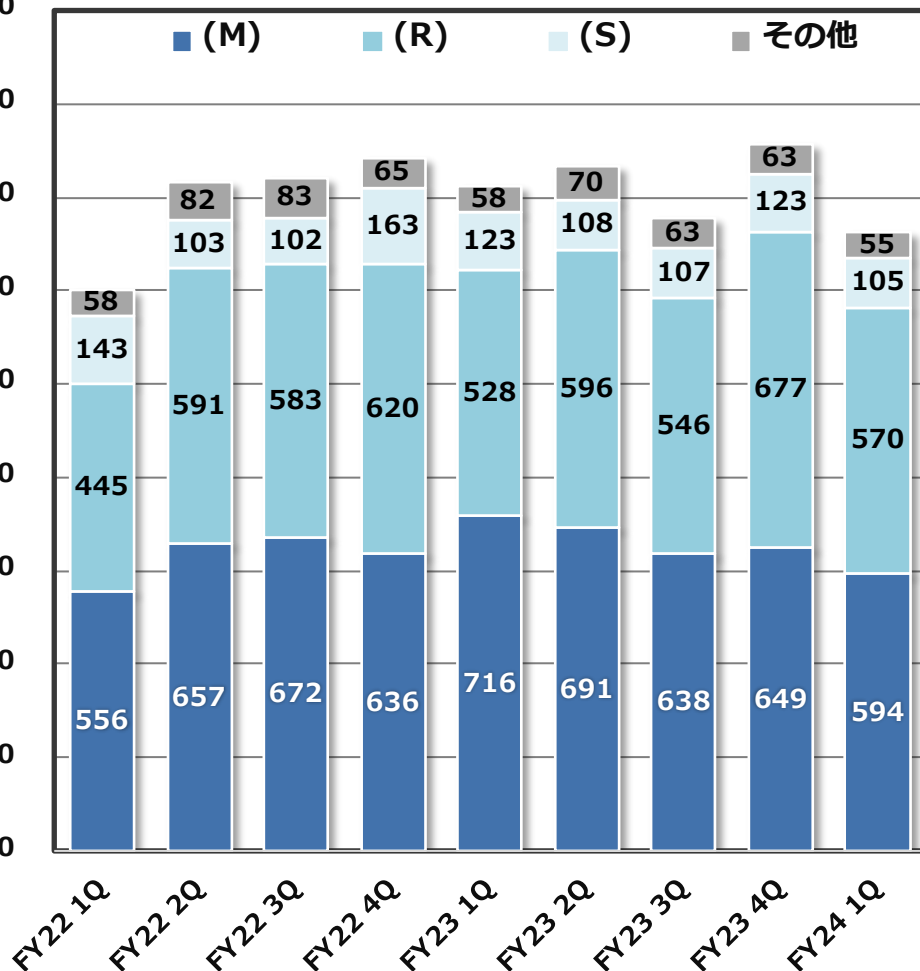
800

600

400

200

0



所在地別

(億円)

1,800

1,600

1,400

1,200

1,000

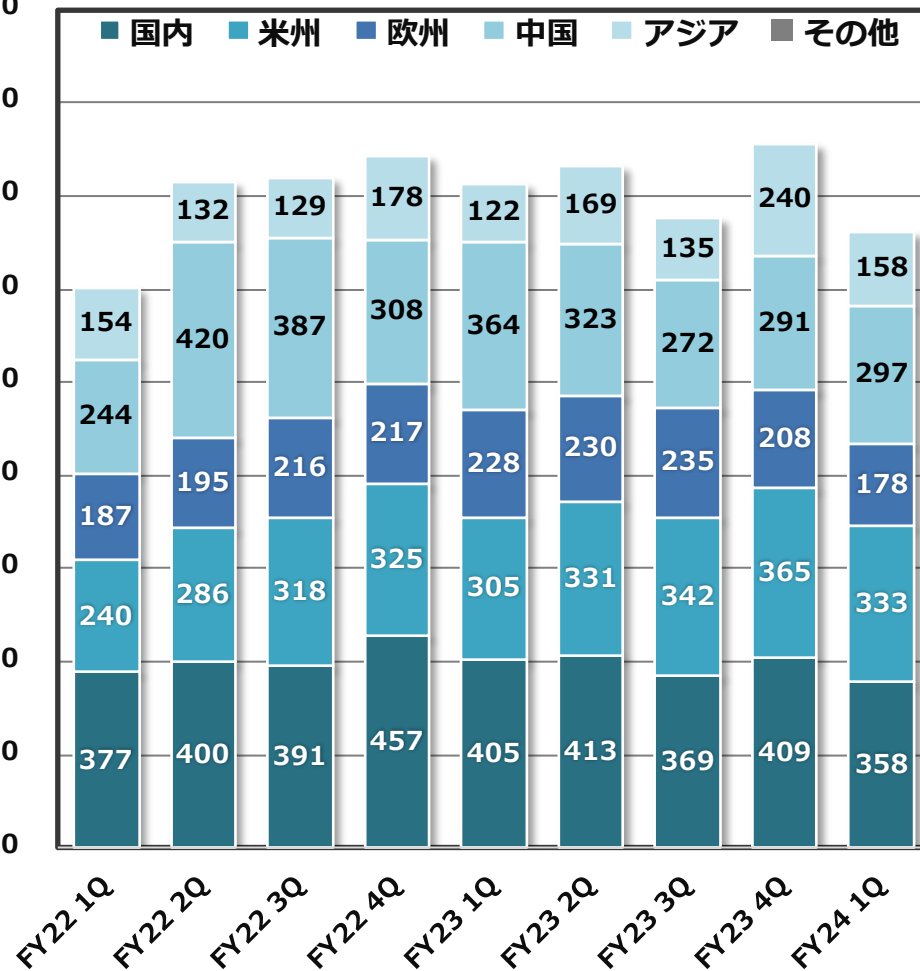
800

600

400

200

0



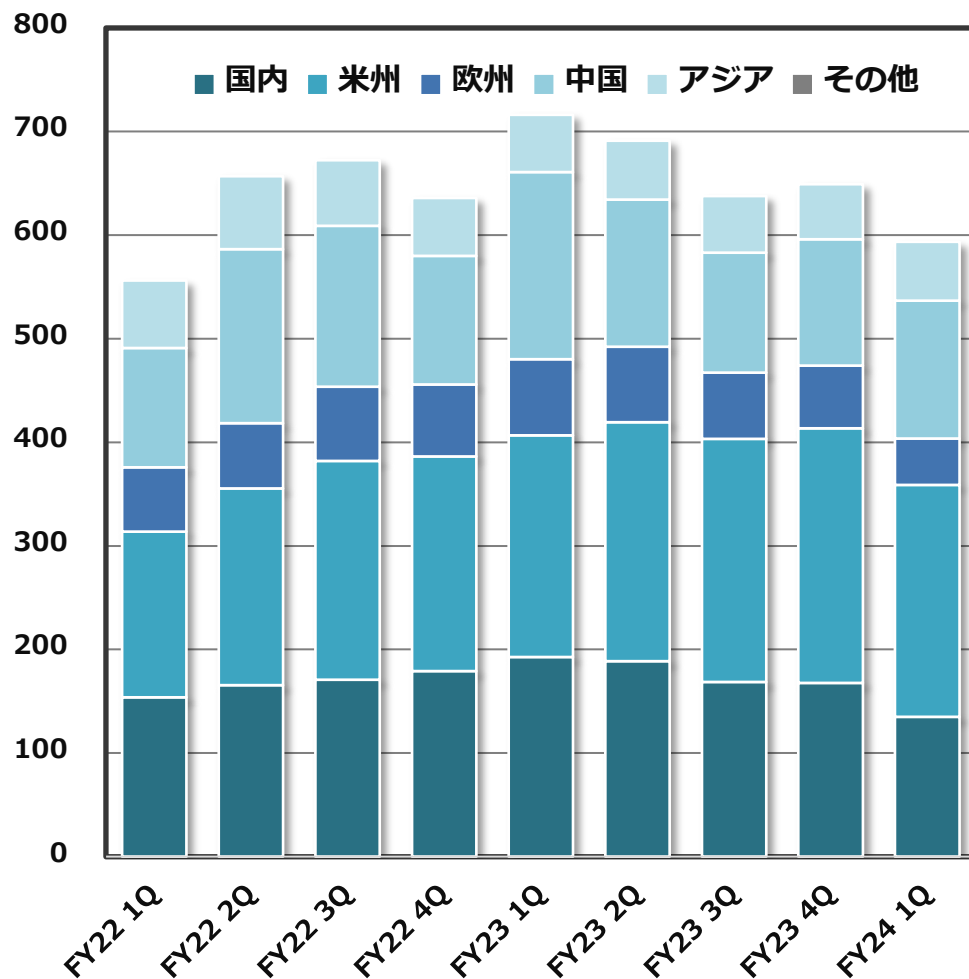
[注. 1] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

[注. 2] FY22のデータは、セグメント区分見直し前の数値を使用

四半期売上収益推移

モーションコントロール

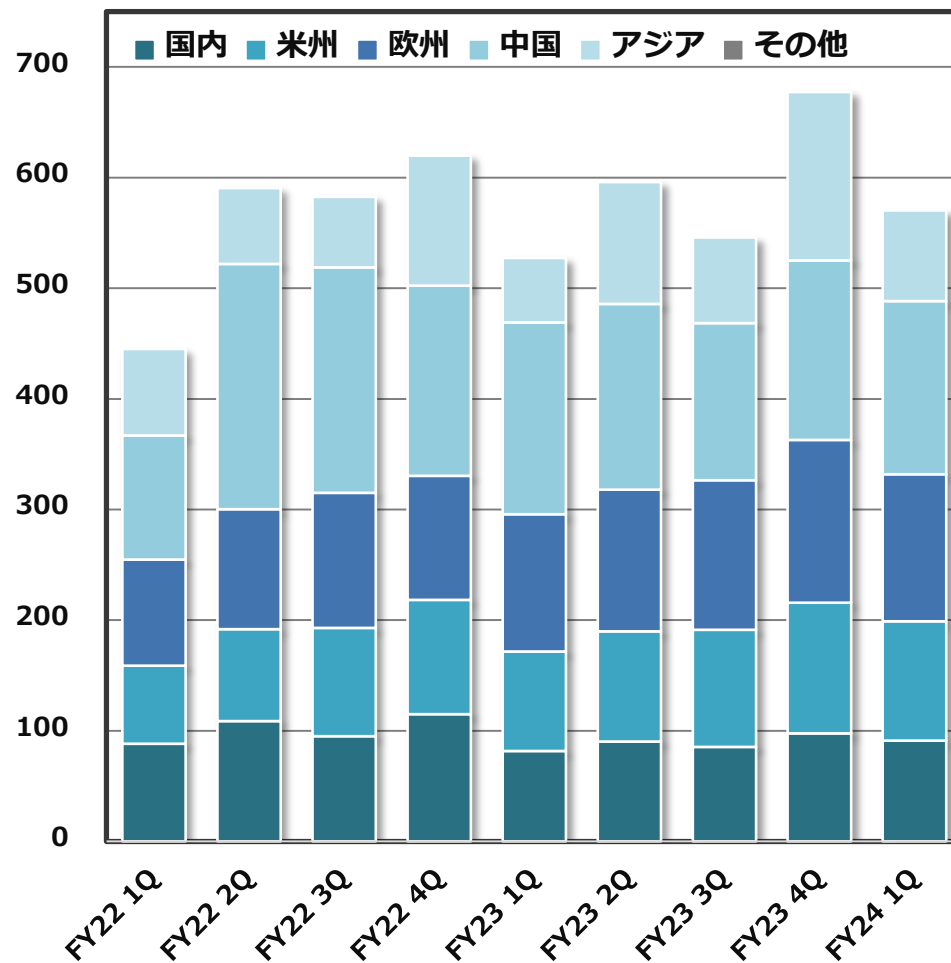
(億円)



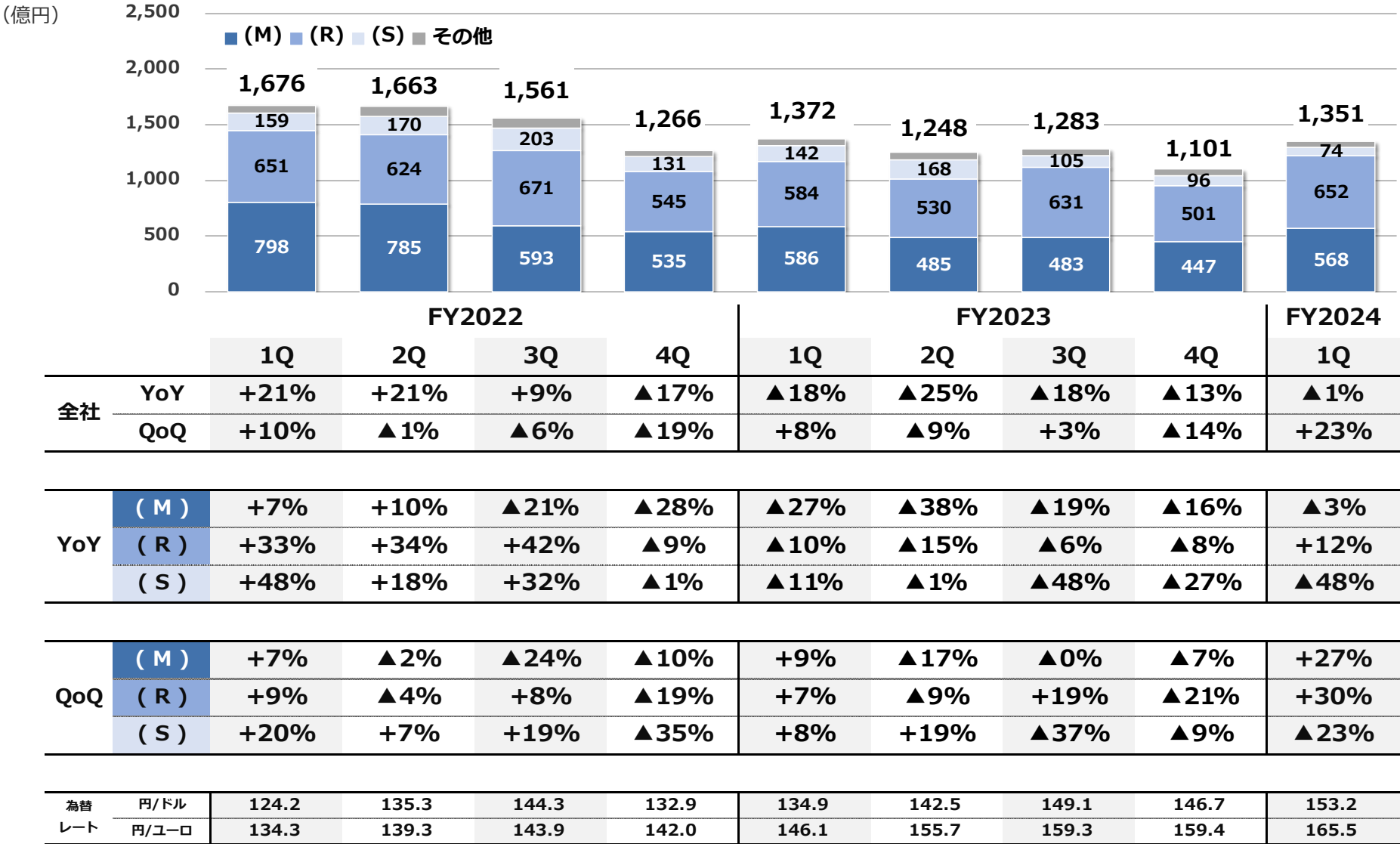
[注] FY22のデータは、セグメント区分見直し前の数値を使用

ロボット

(億円)



四半期受注推移（セグメント別） ※為替は期中平均レートを使用

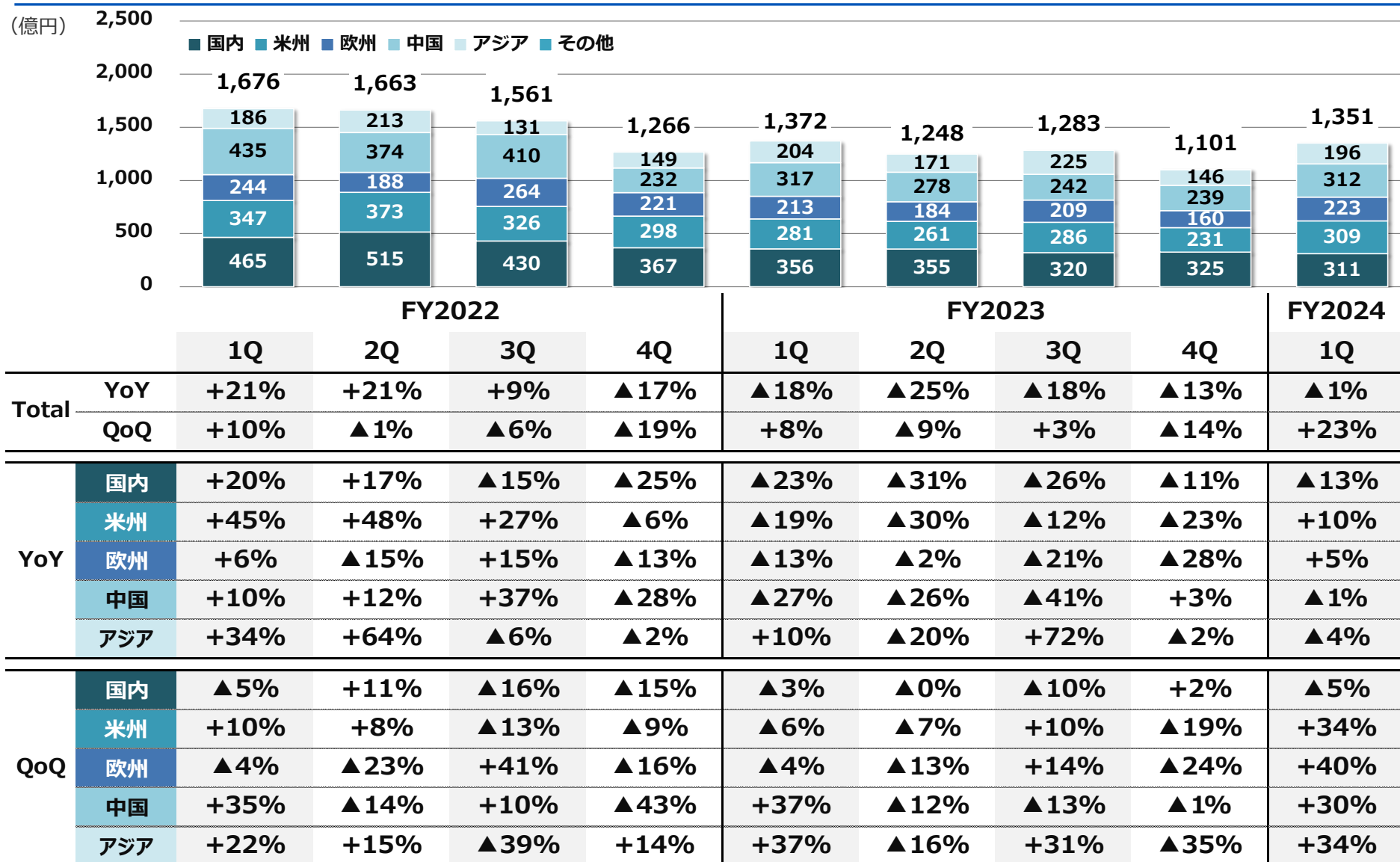


[注. 1] 表記：(M) = モーションコントロール, (R) = ロボット, (S) = システムエンジニアリング

[注. 2] FY22のデータは、セグメント区分見直し前の数値を使用

四半期受注推移（所在地別）

※為替は期中平均レートを使用



[注] FY22のデータは、セグメント区分見直し前の数値を使用

YASKAWA